

観中人権だより

2024 年度《No.10》

2025/3/19(水)

観音寺市立観音寺中学校

2年生では、人権学習で3月4日に『差別の歴史』、11日に『人の値うち』を学習し、1年生では、3月6日に『「字がわからない」ってどんなこと?』を学習しました。全ての学級で考えを深めることができました。

※ 識字 : 文字を読み書きできること。

※ 識字学級 : 識字能力を十分に身につけられなかった方を対象に、

読み書きの力を取り戻すための教育の場。



2年生 生徒の感想より

○自分が差別されたことがないので、少し他人事だと思っていた時もありました。だから、今日の授業で江口さんが伝えたいことを学ぶと、差別されてきた人はいて、苦しい思いや寂しい思いをしてきたんだということを今までよりもずっと重く感じました。

○まず自分自身を見直さないといけないんだと思った。差別や偏見はあってはならないものだと思う。

○「差別をしている人」には自分のことも含まれているし、自分の身の周りの人たちも同じ心を持っている。だからこそ、それとどう向き合うのか、「差別」をしっかりと自分事として考えるのが大切だと思う。江口さんのように自分たちの思いを後生に伝えてようとしてきた方たちの思いをしっかりと受け止め、生きていこうと思います。



1年生 生徒の感想より

○識字というのは、幸せに生きるために欠かせないもので基本的人権だということがわかった。誰もが幸せに生きられるように、私もこれからいろんな人に出会う中で、助け合っていきたいと思う。

○私は、今当たり前前にできている字の読み書きは、決して当たり前のことではないと実感しました。自分ができないことを、自分の分までがんばってほしいと思えることがすごいと思いました。

○「文字を読み書きできない」ということは、本人が一番辛いし、日常生活がとても大変なものだということがわかりました。もし、周りの人にそういう人がいるなら、優しくそっと寄り添っていきたいと思います。

○今は学校が面倒くさいと思っていたけど、学校に行けるのが普通じゃないことがわかった。学校に行けない辛さを知りました。字を書けないことで、働くこともできない辛さを知りました。